

2017年3月期第1四半期  
決算説明資料

2016年7月27日

 日立化成株式会社

# 16/1Q実績及び16年度見通し

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

(億円)

項目	16/1Q 実績	前年 同期比	(ご参考)4月公表値※			
			16/上 見通し	前年 同期比	16年度 見通し	前年度 比
売上収益	1,250	91 %	2,650	96 %	5,500	101 %
営業利益	120	110 %	230	99 %	540	102 %
当期利益 (親会社帰属)	72	87 %	160	96 %	385	100 %
営業利益から その他の収益・費用 を除いた金額	113	98 %	230	94 %	540	108 %

【16/1Q実績】 為替レート ¥108/US\$(平均)、¥103/US\$(期末)

※業績予想の見直しは行っておりません。

## 機能材料

640億円 (前年同期比 90%)

- 電子材料、配線板材料:

新規案件を獲得したダイボンディング材料、銅張積層板は増加したが、その他の製品はスマートフォン向け等が減少

- 無機材料:

環境対応自動車向けが増加したが、PCやタブレットPC向け等が減少

- 樹脂材料:

スマートフォン向けは、前年同期実績と同水準を維持したが、為替影響等を受けて減少

## 先端部品・システム

610億円 (前年同期比 92%)

- 自動車部品:

東南アジア等における需要減や熊本地震の影響により減少

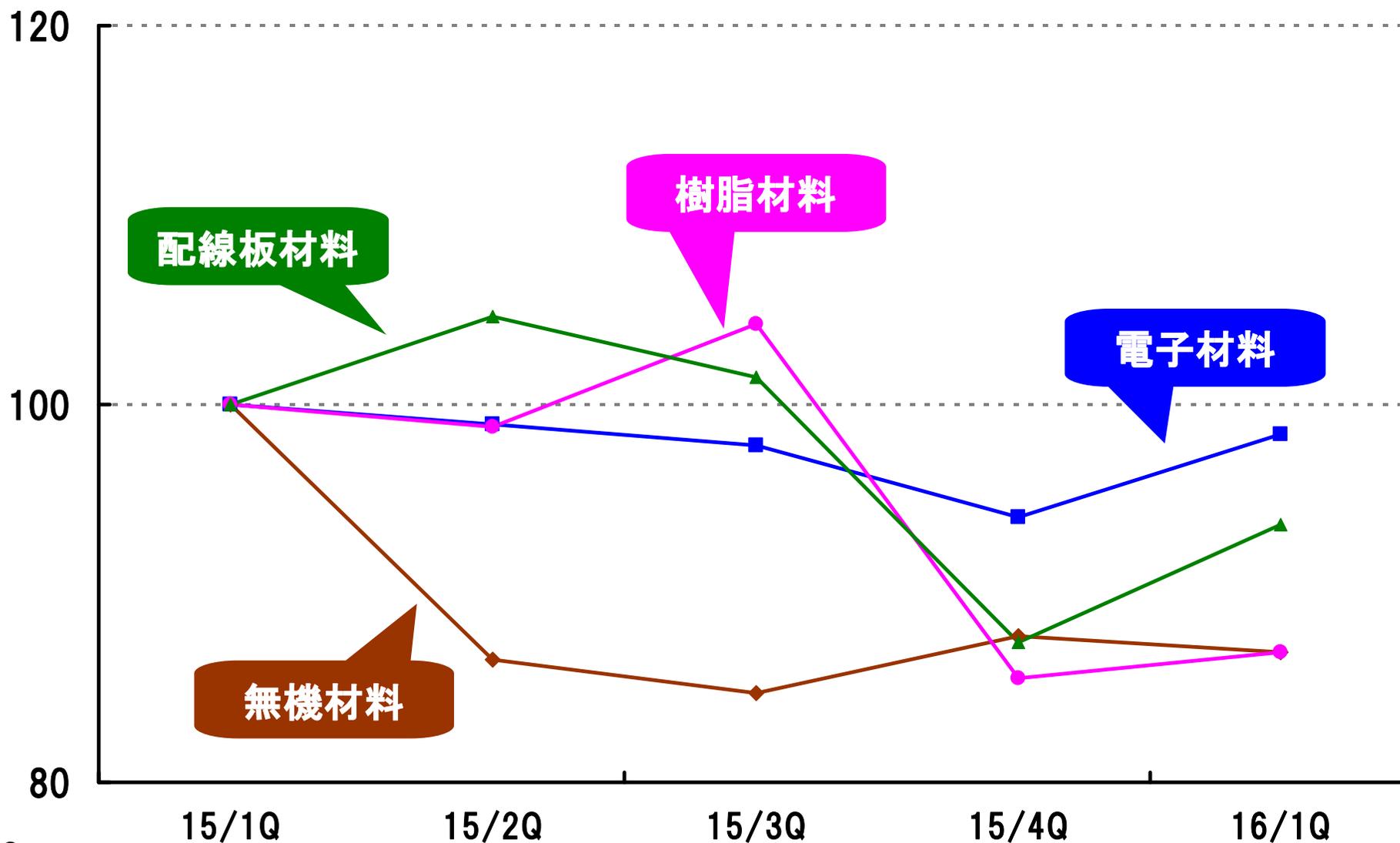
- 蓄電デバイス・システム:

海外向けの電動車用が増加したが、国内新車向け、国内通信事業者向けが減少

# 16/1Q実績 機能材料 売上収益(1)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

対15/1Q指数



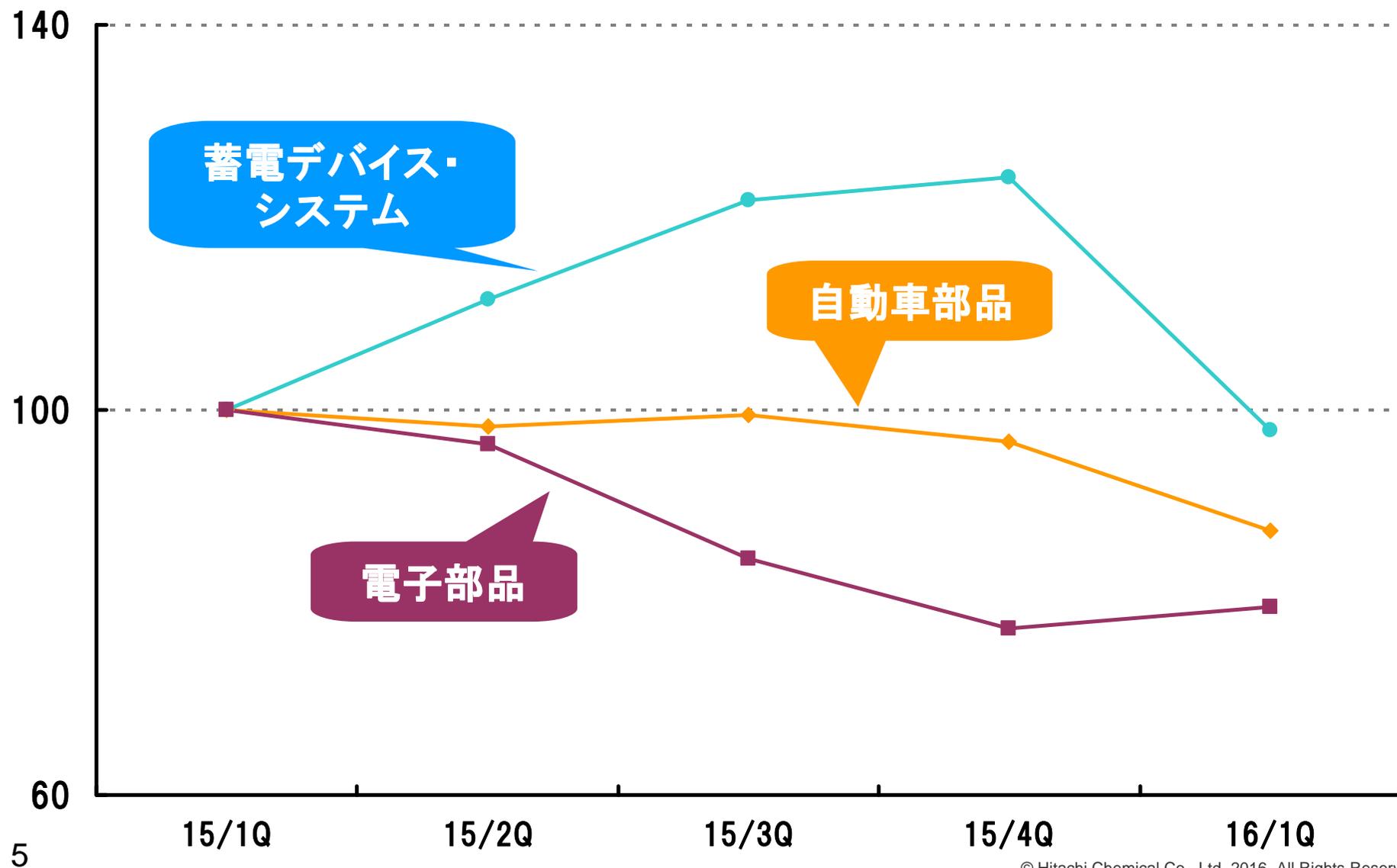
# 16/1Q実績 機能材料 売上収益(2)

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

	売上収益	前年同期比
<b>機能材料</b>	<b>640 億円</b>	<b>90 %</b>
電子材料	212	98
封止材		96
ダイボンディング材料		119
CMPスラリー		85
無機材料	55	87
リチウムイオン電池用負極材		85
樹脂材料	141	87
アニソルム		75
配線板材料	176	94
銅張積層板		104
感光性フィルム		82

# 16/1Q実績 先端部品・システム 売上収益(1) *Hitachi Chemical* Working On Wonders

対15/1Q指数

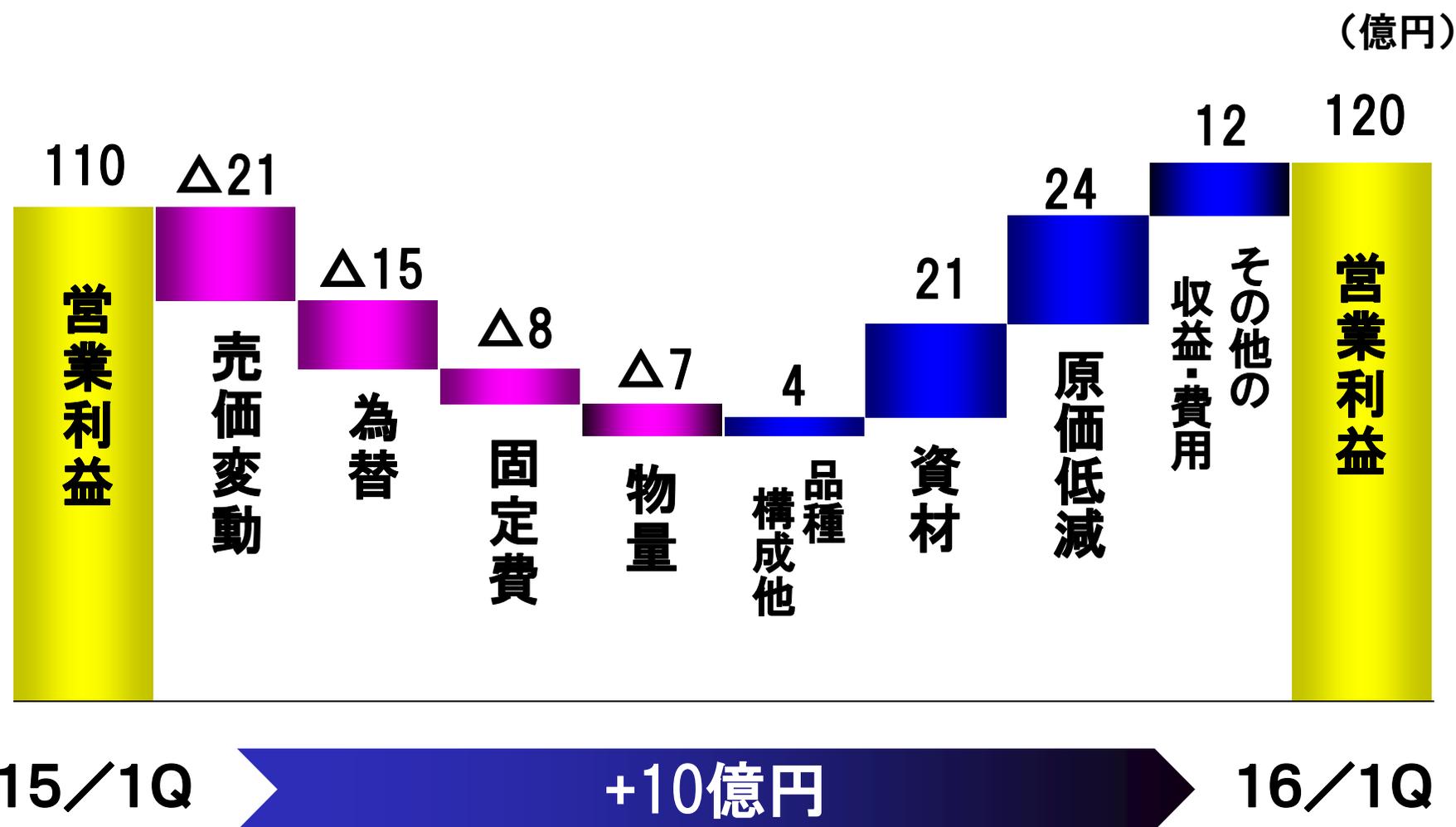


# 16/1Q実績 先端部品・システム 売上収益(2) *Hitachi Chemical* Working On Wonders

	売上収益	前年同期比
<b>先端部品・システム</b>	<b>610 億円</b>	<b>92 %</b>
<b>自動車部品</b>	<b>282</b>	<b>88</b>
樹脂成形品		82
摩擦材		85
粉末冶金製品		94
<b>蓄電デバイス・システム</b>	<b>226</b>	<b>98</b>
車両用電池		97
産業用電池		100
<b>電子部品</b>	<b>82</b>	<b>79</b>

# 営業利益の偏差説明(1)

## 15/1Q実績 対 16/1Q実績



# 営業利益の偏差説明(2) セグメント別

## 15/1Q実績 対 16/1Q実績

(億円)

	15/1Q	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種構成 他	その他の 収益・費用	16/1Q
機能材料	93	△4	△11	△9	12	15	△4	7	8	107
先端部品 システム	17	△3	△10	△6	9	9	△4	△3	4	13
計	110	△7	△21	△15	21	24	△8	4	12	120

# 主要材料購入単価推移

(15/1Qを100とした指数表示)

項目	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/2Q 見通し
原油(ドバイ)	100	81	67	50	70	77
鉛	100	93	89	90	87	88
エポキシ	100	100	105	105	102	102
PETフィルム	100	100	100	100	100	100
MMA	100	96	92	93	90	90
ガラスクロス	100	100	100	100	100	100
銅箔	100	103	94	89	86	85

# *Hitachi Chemical*

## *Working On Wonders*

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

 日立化成株式会社